

十三小学校研究推進便り

5月25日（水）、5時限目 第1回の研究授業。

6年 人物と人物の関係を考え、心をひかれた人物を紹介しよう

「風切るつばさ」

大槻哲也 学級

<研究授業参観に当たって>

今年初めての研究授業です。本年度は、昨年度の研究の成果と課題をふまえ、『「できる」「わかる」をめざした授業づくり ～協働的な学びを取り入れた物語文の学習を通して～』を追及するため、みんなで視点に沿って考えていきたいと思います。今回は、昨年度の6年生の研究授業と同じ教材ですが、第Ⅲ次の言語活動が違います。また、協働的な学びに向けての取り組みにも注目していきたいと思います。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

「読みの観点」の習得→活用が図れる流れであったか。

- ① 言語活動に迫るための活動が効果的であったか。

協働的な学びに迫る交流について

- ① 自分の考えを持つための工夫（ワークシートやノート指導、助言、思考ツール等）
- ② 交流のあり方

言語力・表現力を高める工夫

- ① 掲示物は適切か。
- ② 関連図書が生かされているか。

<大槻先生のつぶやき>

6年生から、社会科の学習で一人学級から話し合いという学習の形を整え、日ごろから話し合ってまとめるという活動を取り入れています。

また、話し合いでは司会を中心に全員が発表し、お互いに「突っ込みあい」をめあてに取り組んでいます。

今回の「風切るつばさ」でも、事前にクルルの心情や様子が分かるところを探しておき、本時で話し合う活動をしっかりできるように考えました。

本時までの学習では、物語の中身に入り込んで活動する児童も多い中、手が止まってなかなか人物関係図や自分の考えが書けない児童もいます。

全員が積極的に自分の考えが言えるようにしていきたいと思います。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回は、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。

○自分の思いや考えを広げたり高めたりするための話し合いの評価をする。

- (低学年) ・ 大事なことを落とさずに話したり聞いたりできたか。
 - ・ 順序を考えて話すことができているか。
 - ・ 自分の意見に理由を言うことができたか。

- (中学年) ・ 友達の意見を聞いて自分と同じところ、違うところを意識できたか。
 - ・ 友達の意見に対して自分の考えを言うことができたか。
 - ・ 理由や例などを挙げて自分の意見を説明できたか。

- (高学年) ・ お互いの意見を聞いて、考えの変化に気づいたり、新たに思ったことや考えたことが見つかったりしたか。
 - ・ 目的や意図に応じて的確に話しあうことができたか。
 - ・ 複数の根拠を関係づけながら話すことができたか。